

《担当者名》○太田 亨 ohta@hoku-iryo-u.ac.jp
中川賀嗣
才川悦子

【概 要】

医学における言語聴覚学の位置づけを知るために、医学の基本概念、病気の成り立ち、治療・予防、リハビリテーションの役割、EBMの考え方を学び、チーム医療における自らの役割を理解する。

【学修目標】

一般目標

医学における基本的な概念を、医療の基本事項と医療倫理の観点から説明できる。

行動目標

医学の基本的な概念を理解し、説明できる。

疾病の原因や成り立ち、診断・治療、リハビリテーションの基本プロセスを理解できる。

EBMの基礎を理解し、実際の医療にどう活用されるか説明できる。

医療従事者として、医療倫理や多職種連携の重要性を説明できる。

現代医療の課題や医療提供体制について考え、意見を述べるができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医学の基本概念	医学の定義と歴史 健康と疾病の概念 予防医学の基礎（一次～三次予防）	太田 亨
2	病気の成り立ち（1）生物学的要因	感染症の基本（病原体、感染経路） 遺伝性疾患と環境要因 実例：インフルエンザと予防接種	太田 亨
3	病気の成り立ち（2）心理・社会的要因	ストレスが健康に与える影響 社会的因子（貧困、孤立）と健康 実例：生活習慣病の背景と対策 準備学習：健康に影響を与える心理・社会的要因を挙げる。	太田 亨
4	診断と治療	医療面接と身体診察の重要性 診断のプロセス（検査と評価）	太田 亨
5	リハビリテーションの基本プロセス	リハビリテーションの役割と目標設定（急性期～回復期）	中川賀嗣
6	Evidence-Based Medicine (EBM) の基礎	EBMの定義と意義 医療におけるエビデンスの活用方法 医療におけるEBMの適用	太田 亨
7	医療倫理と患者中心の医療	医療倫理の基本原則（自律性、善行、無害性、公正） 患者中心の医療とインフォームド・コンセント	太田 亨
8	チーム医療、多職種連携と現代医療の課題	チーム医療の意義と多職種の役割 現代の医療提供体制 医療の課題（高齢化、医療費、医療提供体制）	才川悦子

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート:各講義内容とまとめと、自分の意見をまとめて提出する。（100%）

【備考】

Google FormやGoogle Classroom を活用し、資料配布や授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。
教科書や参考書指定はなく、各回の配布資料などを参考にすること。

【学修の準備】

事前学習として、学生各自がネットや書籍を活用し、講義内容の予習を行うこと(120分)。

事後学習として、配布資料を用いて復習をする(120分)。

講義中に出したレポート課題は必ず提出すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP2)言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

才川悦子（医師）

中川賀嗣（医師）

太田 亨（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医師として医療機関で実務した経験を活かし、多職種連携医療における適切な医療役割を果たすための基本的態度を教育する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している